

## ヴァイオリニスト イオアナ・クリスティーナ・ゴイチ

2024年3月下旬 来日決定

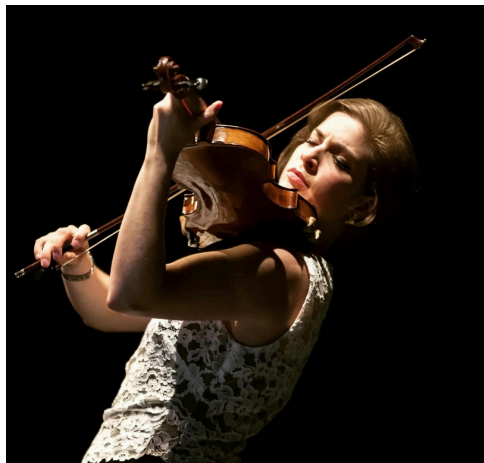
エリザベス王妃国際音楽コンクール、インディアナポリス国際ヴァイオリンコンクール等の権威ある国際コンクールで数々の入賞歴を持ち、世界の管弦楽団とソリストとして共演、評論家から今最も熱い注目を受ける 音楽界の新星

ルーマニア ブカレスト出身のイオアナ クリスティーナ ゴイチは、突出したヴァイオリニストの一人である。母であるヴァイオリニストCristina Anghelescuと祖父であるヴァイオリン教育学者Aurelian Anghelescuの指導のもと、ヴァイオリンを始めた。ブカレストのディヌ・リバツェイ音楽高校でRadu Popescu教授とRudolf Stamm教授に、ハノーファー音楽大学でKrzysztof Wegrzyn 教授に、ライプツィヒ音楽大学でMaria Sirbu 教授、ロストック音楽大学でPetru Munteanu 教授に師事した。またMihaela Martin 教授、Silvia Marcovici、Pinchas Zukerman、Saschuko Gawriloff らのマスタークラスにも参加した。

2017年 ニュージーランドで開催されたマイケル・ヒル国際ヴァイオリンコンクールで第1位を獲得し、評論家はその情熱的な演奏を讃え、『音楽界の新星』と称した。2018年にはドイツのボンで開催されたドイツ音楽コンクールで第1位を獲得、アメリカのインディアナポリス国際ヴァイオリンコンクールでは入賞を果たした。2019年にはイギリスのブリュッセルで開催された権威ある エリザベス王妃国際音楽コンクールの入賞者でもある。ブラームス国際音楽コンクール 優勝（2013）、フリッツ・クライスラー国際ヴァイオリン・コンクール（2014年）入賞他 数々の入賞歴を持つ。

2020年10月、若干 27歳のイオアナは、世界的名声のあるウィーン国立音楽大学のヴァイオリン科の教授に任命された。

これまでに欧州、アジア、アメリカ、ニュージーランド、オーストリアの各フェスティバルの著名ホールにて客演した。コンサートヘボウ・アムステルダム、ベルリン・コンツェルトハウス、セント・マーティン・イン・ザ・フィールズ・ロンドン、メルボルン・リサイタルセンター、ウィーン・コンツェルトハウス、ボザール・ブリュッセル、マイスタージンガーハレ・ニュルンベルク、アントワープエリザベト女王ホール、上海コンサートホール、ルーマニア アテネ音楽堂、タウンホールオーケランド、ハイデルベルク歌劇場、スロヴァキア、ブラチスラヴァ、フライブルクコンツェルトハウスにて演奏した。



ソリストとして、ベルギー国立管弦楽団、ニュルンベルク交響楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、シュターツカペッレ ハレ、ワロン王立劇場管弦楽団、ジョルジュ・エネスコ ブカレストフィルハーモニー管弦楽団、オーケランド・フィルハーモニー管弦楽団、インディアナポリス交響楽団、ブカレスト国立放送交響楽団、アントワープ交響楽団、ボン・ベートーヴェン管弦楽団、南西ドイツ・フィルハーモニー交響楽団、バーデン＝バーデン・フィルハーモニー管弦楽団と共演した。

ソリストとしての活動に加え、熱心な室内楽奏者で、スイスのヴェルビエ音楽祭、ヒツァッカー音楽祭、ハイデルベルク・フリュERING音楽祭など、著名な室内楽フェスティバルやアカデミーで演奏している。

2015年ピアニストのアンドレイ バンチュと、イタリアのトリエステで開催されたプレミオ・トリオ・ディ・トリエステ国際室内楽コンクールで第二位及びヤングアワード賞を受賞した。

Deutsche Stiftung Musikleben、Alfred Toepfer Stiftung F.V.S.、Gerturd und Hellmut Barthel、DAAD ドイツ学術交流会、ad infinitum Leipzig、Live Music Now Hannover、Werner Richard の Dr.Carl Doerken、Gundlach 各財団より助成を受けた。

現在 フランスのジャン＝バティスト・ヴィヨームのヴァイオリンを特別貸与と、2021年製 LeipzigのJürgen Mantheyのモダン・ヴァイオリンを貸与されている

録音では、ピアニストのアンドレイ・ググニンとのデビューCD「リサイタル」は、ニュージーランドのAtoll Recordsレーベルから2019年にリリースされ、CD「Romantic Exuberance」はアンドレイ・バンシュととともに、ドイツ放送交響楽団およびドイツ音楽コンクールの協力により、2019年にGenuinレーベルからリリースされた。2021年、アーヘン・シンフォニーオーケストラ、クリストファー・ウォードとともに CD「アーヘナー・ワルツァー」がナクソス・インターナショナルからリリースされた。

